

# 無形文化財の保存・継承に関する調査研究 (△01)

**研究組織** 前原恵美、久保田裕道、石村智、菊池理予、鎌田紗弓、佐野真規（以上、無形文化遺産部）、早川典子（保存科学研究センター）、飯島満（特任研究員）

**目的** 我が国の無形文化財、並びに文化財保存技術の伝承形態を把握し、その保護に資するため、伝承の基礎となる技法・技術の実態や変遷の調査研究、及び資料の収集を行い、現状記録の必要な対象を精査して記録作成を行う。

## 成果

### 1. 無形文化財に関する調査研究

- 芸能分野：古典芸能、関連文化財保存技術（三味線、笙ほか製作技術等）、原材料生産技術（ヨシ、桐、竹、桜の樹皮等）の調査研究、伝統芸能における新型コロナウイルス感染症拡大の影響調査
- 工芸分野：文化財保存技術（近世染織技法書の情報整理等）に関する調査研究、工芸技術の防災（珠洲焼等）に関する調査研究

### 2. 現状記録を要する無形文化遺産の記録作成

- 宮園節：宮園千碌氏ほかによる古典1曲（《夕霧由縁の月見》（夕霧））を前後編に分けて収録（東京文化財研究所、2022（令和4）年10月21日、10月31日）
- 平家：菊中央雄司氏ほかによる伝承曲2曲（《那須与一》、《宇治川》）の映像記録作成（文化財活用センターとの協働、東京文化財研究所、2023（令和5）年2月3日）

### 3. 研究調査に基づく成果の公表

- 浅田正徹氏採譜楽譜のデジタル画像化と公開（2022（令和4）年7月）
- 第16回東京文化財研究所無形文化遺産部公開学術講座「無形文化財と映像」開催（東京文化財研究所、2022（令和4）年10月28日）、記録動画を当研究所ウェブサイトで期間限定配信
- 【シリーズ】無形文化遺産と新型コロナウイルス フォーラムⅣ「伝統芸能と新型コロナウイルス—これからの普及・継承—」開催（東京文化財研究所、2022（令和4）年11月25日）
- 文化財保存技術映像記録「太棹三味線修理技術（長編）」の作成（2023（令和5）年3月31日）

### 4. 無形文化遺産に関わるアナログ資料のデジタル化

- 音声資料：オープンリールテープに関して、民謡音源等（約60時間）のデジタル化を実施

## 論文

- 前原恵美ほか：「楽器を中心とした文化財保存技術調査報告6」『無形文化遺産研究報告』17 pp.25-39 23.3
- 鎌田紗弓ほか：「無形のわざを書き記す：浅田譜における「作譜」(1)」『無形文化遺産研究報告』17 pp.41-74 23.3

## 発表

- 菊池理予：「工芸技術を支える人々」『全国・いしかわの工芸講演会』国立工芸館 22.8.21
- Maehara Megumi: Post-Pandemic Restoration of Japanese Traditional Performing Arts from the Perspective of Conservation Techniques, INTERNATIONAL CONFERENCE ON INTANGIBLE CULTURAL HERITAGE 2022, 2022.10.27
- 鎌田紗弓：「古典芸能の身体知：「無形」の記録・研究をめぐる課題」令和4年度第4回総合研究会、東京文化財研究所 23.2.7

## 刊行物

- 第15回公開学術講座「樹木利用の文化 桜をつかう、桜を奏でる」報告書 22.8
- 無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究会Ⅳ「型紙と型染」報告書 23.3
- 【シリーズ】無形文化遺産と新型コロナウイルス フォーラム4「伝統芸能と新型コロナウイルス—これからの普及・継承—」報告書
- 「肥後琵琶の伝承および関連資料の現状調査」報告書 23.3
- Techniques that Support Japanese Performing Arts: *Biwa* (Japanese short-necked lute) 23.3